

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成16年10月28日(2004.10.28)

【公開番号】特開2001-339827(P2001-339827A)

【公開日】平成13年12月7日(2001.12.7)

【出願番号】特願2000-155238(P2000-155238)

【国際特許分類第7版】

H 02 G 3/22

B 60 R 16/02

H 01 B 17/58

H 01 B 19/00

H 02 G 3/38

【F I】

H 02 G 3/22 C

B 60 R 16/02 6 2 0 C

B 60 R 16/02 6 2 2

H 01 B 17/58 C

H 01 B 19/00 3 1 1

H 02 G 3/28 F

【手続補正書】

【提出日】平成15年10月24日(2003.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

(1) グロメット1の初期寸法を所定のA～Dの四箇所測定する。

A：嵌合部3の大径筒部8の外径(図2参照)、B：蛇腹部2の嵌合部3側の端部外径(図2参照)、C：蛇腹部2の嵌合部4側の端部外径(図3参照)、D：嵌合部4の大径筒部12の外径(図3参照)。

Bの部分の寸法は19.9mm(n=4の平均)、Aの部分の寸法は50.1mm(n=4の平均)、Dの部分の寸法は20.1mm(n=4の平均)、Cの部分の寸法は50.0mm(n=4の平均)であった。尚、蛇腹部2の肉厚は図面上で1.50mmある。

(2) グロメット1を開閉器(不図示、以下同様)に装着し、各開閉率でグロメット1を開き、10分間保持する。

(3) グロメット1を開閉器から外し、10分間放置する。

(4) 放置後、再度上記A～Dの四箇所の寸法を測定する。

(5) 試験後サンプルを模擬パネル(不図示)に挿入し、問題ないか確認する。